

ニューズレター No.40

日本リメディアル教育学会(JADE)

<http://www.jade-web.org/> 発行人 穂屋下 茂

2011(平成 23)年 3 月 29 日発行

日本リメディアル教育学会、ニューズレターNo.40をお届けいたします。

- (1) 日本学術会議協力学術研究団体の指定
- (2) 関西支部会支部大会報告
- (3) 第 4 回理事会報告

なお、今回の記事の詳細については学会誌の会告に掲載されますので、ご覧ください。

日本学術会議協力学術研究団体の指定

日本リメディアル教育学会は、平成 23 年 2 月 24 日付で日本学術会議協力学術研究団体の指定を受けました。

日本学術会議のリンク集「日本学術会議協力学術研究団体一覧(ナ行)」に本学会のホームページへのリンクが作成されています。

URL:

http://www.scj.go.jp/ja/info/link/link_touroku_na.html

関西支部会支部大会報告

日本リメディアル教育学会第 3 回関西支部会支部大会が、2011 年 3 月 23 日(水)に関西外国語大学で開催されました。参加者はおよそ 100 名で、5 社の企業展示も交え、盛会となりました。なお、大会プログラムについては、ニューズレターNo.39 をご覧ください。

大会では、はじめに、開会式では、開催校である関西外国語大学理事・事務局長の田村幸男様よりご挨拶をいただきました。さらに、村上関西支部会支部長より開会の挨拶、展示企業の紹介と進行しました。

13 時 25 分から、研究部会による活動報告として、ICT 活用教育部会の小松川浩理事から「eラーニングに関するリメディアル学会の取組(全国大会に向けて)」、日本

語部会からは小野博ファウンダーと馬場真知子理事から「JADE 日本教材の制作について」、英語部会の酒井志延理事から「活動報告」、理数系部会の水町龍一理事から「数学コンピテンシーテストについて」と椋本洋理事から「文系数学を考える(全国大会のテーマ設定について)」、学習支援部会から小川洋理事から活動状況について報告されました。15 時 10 分からの研究発表では、参加者が 3 つの会場に分かれ、17 件の発表に対して、熱のこもった議論を行いました。

その後、関西支部会総会が開催され、寺田から第 7 回全国大会の準備状況の紹介がありました。穂屋下会長から閉会の辞で閉会となりました。また、参加者のうち、有志一同は枚方駅近くの会場で情報交換会に参加し、互いに交流するとともに楽しい歓談のひと時を過ごしました。

大会運営委員会

中川徹夫(神戸女学院大学)、牧野真貴(近畿大学)、東郷多津(京都ノートルダム女子大学)、笹井悦子(桃山学院大学他)、村上 裕美(関西外大短期大学部)

第4回理事会報告

日本リメディアル教育学会の理事会を、以下の要領で開催しました。

日時:2011 年 3 月 23 日、11 時 10 分~12 時 30 分

場所:関西外国語大学 1 号館 1 階 1112 教室

出席者:井東、岩崎、植松、小川、小野、小藺、小松川、酒井、佐藤(尚)、竹内、田中、寺田、中園、馬場、穂屋下、水町、椋本、村上、清田(監事)、米満(事務局)

議事の概要を以下に示します。

【審議・協議事項】

(1) 役員候補者選出選挙について

穂屋下会長から、次期理事・監事の選挙について、選挙管理委員会と推薦者名簿作成委員会を設置することが説明され、審議の結果以下の構成の委員会を設置することが可決されました。

(選挙管理委員会)角 和博、高橋美知子

(推薦者名簿作成委員会)穂屋下茂、寺田 貢

推薦者名簿に登載する推薦理事候補者及び推薦監事候補者の数の範囲については、推薦者名簿に登載する推薦理事候補者の数については 20～30 名、推薦者名簿に登載する推薦監事候補者の数については 2 名と可決されました。

(2) 会員名簿発行について

穂屋下会長から、年に1回、会員名と所属機関名、職名などの情報に制限して、その一覧表(名簿)を作成・印刷して、会誌を送付するときに、一緒に送付することについて提案されました。協議の結果、会員に開示を許可する項目を確認してから発行することとし、全国大会の案内状を送付する際に、その文書を同封して送付することとしました。

(3) アンケート調査について

小野ファウンダーから、全国の大学にアンケートを送付し、学会を PR するとともに、全国の大学におけるリメディアル教育の現状を調査することが、アンケート用紙の原案とともに提案された。これについて協議した結果、各大学における送付先をどうするか、アンケートの趣旨や目的を明確化すること、アンケートの内容に枝番が多く回答しにくいこと、学会員の所属する大学・短大だけでも全国でかなりの数に及ぶため学会員を経由して回答を依頼するのでも十分でないかなどの点が指摘され、今後理事会メーリングリストで意見交換して改訂し、5月～6月ごろに実施することとなりました。

(4) リメディアル教育について

小野ファウンダーから、リメディアル教育の定義について学会の見解を表明する文書の文案が提案されました。協議の結果、今後理事会メーリングリストで意見交換し、表現や文言を修正して、早期に学会ホームページに掲載することとなりました。

(5) 著作権規程について

竹内理事から、著作権規程の制定について説明されました。審議の結果、原案について、一部修正した上で制定することが可決されました。

(6) 会誌「リメディアル教育研究」への広告掲載について

会誌編集委員会から提案されていた広告掲載について、協議を行いました。現状は無料の査読者へ謝礼や編集委員会開催時の交通費などの財源として、広告料

で得た収入を充当できること、すでに掲載されている会員の出版物の紹介も広告の性質を持っていること、他の学会の広告と異なり記事の内容と特定の企業の広告がリンクして読者に誤解を与えることの懸念、採録した論文の著者から掲載料を徴収することなど、盛んな意見交換が行われ、編集委員長が出席する次回以降の理事会で改めて検討することとなりました。

【報告事項】

(1) 大会運営委員会の設置と大会実施ガイドライン作成

大会運営委員会の設置と大会実施ガイドライン作成について検討するための準備の状況について、寺田より報告されました。

(2) 第7回全国大会の準備状況について

実行委員長の寺田より準備状況について報告されました。また、8月31日と9月1日に久留米大学で開催される初年次教育学会との交流について提案されました。

(3) プレイメントについて

従来、前夜祭として開催していた、学会前の会合の準備状況について、穂屋下会長から、佐賀大学において、Moodleの研修会を行うことが報告されました。これについて、名称を「プレイメント」から「プレカンファレンスセミナー」とすることが提案されました。

(4) その他

本学会が2月24日付で日本学術会議協力学術研究団体の指定を受けたことが報告されました。今後、国立情報研究所電子図書館(Nii-ELS)の利用申請手続きに移行することが報告されました。

会誌への論文投稿のお願い

会誌『リメディアル教育研究』では、リメディアル教育に関する研究、教材や教授法の開発と評価、実践の報告などについての原稿を募集します。

詳しくはホームページ

<http://www.jade-web.org/jade/journal/journal.html>
をご覧ください。

【文責】寺田 貢